

『時事直言』 No.1716 2024年12月16日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)



時事評論家 増田俊男

特集 キーウ(ウクライナ首都)を生かすも殺すもトランプ次第

上記は小冊子 Vol.145 の特集の題名である。

トランプの言う「俺が大統領になったらウクライナ戦争を 24 時間以内で終わらせる」と大統領選キャンペーンで言ったことについて、誰も想像だにしていなかったトランプとプーチンの阿吽の呼吸で示し合っている両者の秘策について詳しく述べることにした。

ウクライナが今なおロシアと善戦しているのはアメリカと欧州が軍事支援を続けているからである。

アメリカがウクライナ支援を中止すればウクライナは即座に敗北する。

トランプのウクライナ戦争即時停止と和平合意の自信はウクライナ戦の勝敗を決めるカードを握っているからである。

ロシアとウクライナの停戦と和平合意条件は何か。

ロシアとウクライナがすでに表明している双方どうしても譲れない条件がある。

それはウクライナの NATO 加盟である。

プーチンは 2022 年ロシアがウクライナ国境に 20 万のロシア軍を駐屯させたのはウクライナに NATO 加盟阻止の圧力をかける為であったと明言している。

脅しだけのつもりが実際にウクライナ侵攻に踏み切ってしまったのは、プーチンがナチスの残党と呼ぶウクライナ民兵組織(CIA がバック)がウクライナ東部でロシア系住民の大量殺戮を続けた為ドメスクとルハンスク人民共和国(2014 年 3 月に独立宣言をしている)からロシア系住民救済の要望があったからだとうクライナ侵攻を正当化している。

ロシアにとってウクライナは本来ロシアと敵対関係にある NATO との緩衝(かんしょう)地帯であるからウクライナが NATO に加盟することはロシアの安全保障上由々しき問題であるとプーチンは主張している。

一方ゼレンスキーにとってウクライナが NATO に加盟することは NATO 加盟国によってウクライナの安全が保障されることになるからどうしても NATO に加盟しなくてはならない、NATO 加盟なしにウクライナの安全はないのである。

従ってウクライナ戦争停止と和平合意の成否はウクライナの NATO 加盟か否かにかかっている。

もとよりゼレンスキー(ウクライナ)の条件はロシアへの領土割譲は認めず、NATO 加盟である。

プーチンの条件はロシア住民の多い 4 州割譲(ドメスク、ルハンスクを含む)とウクライナの NATO 非加盟である。

ウクライナの NATO 加盟をめぐるロシアとウクライナは水と油である。

トランプはプーチンの「本音と建前」を知っているのでウクライナ戦争即座停止、和平合意が出来る。

トランプのウクライナ戦争即時停止と和平合意達成の絶妙の戦略を「小冊子 Vol.145」でご披露することにした。

大好評配信中！増田俊男の「インターネット目からウロコの増田塾」

いつでも繰り返し何度でも視聴可能！

皆様からのご要望にお答えし、「株式指南」を継続的に配信するコンテンツをスタートします。是非、この機会にお申し込みください。

【配信予定内容】○損をさせない「早朝株式指南」○本日の世界政治・経済情勢の裏(真実)

★いつでも繰り返し何度でも視聴可能。ご視聴方法：PC・スマートフォン・タブレット ※Youtube の視聴環境が必要となります。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313、HP : <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。